

## 編集後記

本号は、第32回研究大会（2015年10月2日から4日、専修大学）で発表された報告のうち、統一論題の応募論文2篇（及び解題1篇）、自由論題の応募論文3篇、シンポジウムの応募論文2篇、韓国セッションの報告論文2篇と研究グループ「IFRSの概念フレームワークについて」（主査：岩崎勇）の中間報告と「国際統合報告フレームワークの形成と課題」（主査：古庄修）の最終報告が掲載されている。上記の自由論題の応募論文3篇は、厳正なる査読を経て採択され、掲載された。本号から査読論文についてはその事実を明確に表示するように変更された。その他に自由論題の応募論文が6篇あったが採択されなかった。統一論題とシンポジウムの応募論文と韓国セッションの報告論文は査読を経ずに掲載している。

本号の発刊にあたり、査読を快く引き受けていただいた会員の先生方及び編集委員の先生方には、学会の発展のために多大のご貢献をいただいた。また、編集委員会幹事の仁川栄寿先生（中部大学）には、編集作業すべてにわたり委員長を補佐し、発刊までごぎつけていただいた。これら諸先生のご貢献なくしては無事発刊できなかつたことであろう。ここに、深い謝意を表したい。

編集委員長 柴 健次

---

### 編集委員会

委員長 柴 健次

委員 浦崎 直浩      小西 範幸      杉本 徳栄      中野 貴之

幹事 仁川 栄寿

---